

運営の最低基準を踏まえた再編方針・適正配置について

《 公立幼稚園のあり方に関する今後の方針について（案） 2（3）、（6）、（7） 》

【修正版】幼稚園入園児童数実績及び見込（4月1日時点）

	令和6年度 実績				令和7年度 見込み				令和8年度 見込み				令和9年度 見込み			
	年少	年中	年長	計	年少	年中	年長	計	年少	年中	年長	計	年少	年中	年長	計
飯田幼稚園	2	9	7	18	6	2	9	17	6	6	2	14	5	6	6	17
園田幼稚園	10	9	21	40	14	10	10	34	6	14	10	30	8	6	14	28
一宮幼稚園	休園				休園											
森幼稚園	7	14	25	46	10	7	14	31	8	10	7	25	5	8	10	23
天方幼稚園	休園				休園											
計	19	32	53	104	30	19	33	82	20	30	19	69	18	20	30	68

※令和7年度については入園申込のあった児童数により推計、令和8年度以降については年齢別人口及び保育所等就園状況から推計値を算出

令和6年度 3園 10学級（うち複式1学級） 104人（1学級平均 10.40人）
令和7年度見込 3園 8学級（うち複式1学級） 82人（1学級平均 10.25人）

適正配置及び再編方針等について

I 公立幼稚園の適正な園数について

■ 森町全体で必要となる、または幼児教育の観点から望ましい幼稚園数の検討

最低基準 ： 1学級5人以上かつ幼稚園全体で15人以上
現 状 ： 1学級あたりの児童数 おおむね10人（令和6年度）

○令和10年度以降も園児数は緩やかに減少していくと考えると、森町全体で60人以下の園児数となるため、事務局として以下のように整理して検討していく。

- ①1学級あたりの園児数を10人以下と想定すると・・・60人÷5～10人＝おおむね6～9学級
→ 3園（年少児・年中児・年少児各1学級＝3学級×3）
～2園（年少児・年中児・年少児各1学級＝3学級×2）

3園とした場合は、現状の幼稚園体制を維持するが、今よりもさらに小規模な集団（学級）となることが予測される。園によっては学級編成が複式学級、複々式学級による教育となるため、最低基準以上ではあるが適正な集団であるとは言い難い状態となる。

一方で、地域の幼稚園としては現状のまま残していくことが可能となるが、園児数を増やすための取組みの実施や公立幼稚園の良さ、強みを活かし特色のある教育を実践していくことが必要であると考えられる。

② 1 学級あたりの園児数を 10 人程度と想定すると・・・60 人÷10 人＝6 学級程度

→ 2 園（年少児・年中児・年少児各 1 学級＝3 学級×2）

～1 園（年少児・年中児・年少児各 2 学級＝6 学級）

現状の 1 学級あたりの園児数とほぼ同程度であり、一定の集団形成は可能ではあるが、集団の規模としては依然として小さい集団規模とも言える。

一方で園児数が多すぎないため、現状と同じくきめ細やかな教育・保育の提供が可能。

なお、2 園とした場合は既存の幼稚園を残し継続していくことが想定される。また、1 園に統合する場合は 1 学年が複数の学級となることも考えられる。

③ 1 学級あたりの園児数を 15～20 人と想定すると・・・60 人÷15～20 人＝おおむね 3～4 学級

→ 1 園（年少児・年中児・年少児各 1 学級＝3 学級）

1 学級あたりの園児数も現状より少し大きい集団となり適正であると言え、きめ細やかな教育・保育の提供も十分可能な人数となると思われる。園児数によっては 1 学年 2 学級となる場合も考えられる。

1 園とする場合は、立地条件等を考慮すると集約して新設という選択肢も考えられるため、施設の老朽化への対策や防災対策等を考慮することも可能。また、幼稚園教諭も 1 園に集約し、教育・保育にあたることが可能となり、配置によってはより手厚い教育・保育の提供が可能となる。

ただし、通園方法等の検討は必要となってくるため、すべて保護者送迎とするか幼稚園バスの運行実施を検討することとなる。

II 公立幼稚園の施設類型について

■幼稚園の再編にあたり、公立施設として今後望まれる施設類型の検討

幼稚園の再編にあたり、現状のまま幼稚園として教育を継続していくか、認定こども園として再編していくか、今後の方針を検討していく必要がある。

森町の現状としては、教育・保育の需要はピークを過ぎ、待機児童の発生により課題となっていた保育需要の受け皿確保も令和 5 年度に新規保育所が開所したことにより、需要を満たすことができている。

保育の受け皿確保という視点から言えば、少子化により教育・保育の需要が減少していく状況において、3 歳児以上の保育の受け皿については満たされており、公立幼稚園の認定こども園化を進めていく意義は失われつつあり、森町としては 3 歳以上の保育の供給量を増やす必要はないと言える。

○幼稚園、認定こども園それぞれの有利な点、不利な点

《幼稚園》

- ・幼児教育に特化した施設として幼稚園を残すことで、現状の教育需要に応えることが可能
- ・森町の豊かな自然を活かした質の高い幼児教育の良さを維持し、更なる質の向上や充実させることも可能
- ・幼稚園のままで従来の幼稚園のイメージから脱却することが難しい

《認定こども園（幼稚園型）》

- ・認定こども園として、保育機能や子育て支援の拠点としての機能を持たせることが、幼児教育の質の向上や充実につながる
- ・認定こども園化することで一定の保護者ニーズに答えることができ、園児数の増加も少なからず見込める
- ・子育て支援センターなどの併設により、地域の教育保育の拠点としての機能をより発揮できる体制づくりが可能となる
- ・保護者の就労によらず、同じ施設で教育・保育の提供を受けることが可能となる
- ・公立施設が保育機能を持つことで今後、少子化の更なる進行により需要が減少していくことが予測される保育需要を私立保育所と取り合う形となる

【教育・保育需要】

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
就学前児童数（3歳～5歳）	426人	417人	430人	415人	391人	360人	364人	334人	311人	276人
教育（幼稚園）利用児童数	251人	251人	239人	240人	216人	172人	160人	132人	104人	82人
保育（保育所）利用児童数	157人	149人	154人	162人	165人	170人	179人	180人	192人	193人
教育利用率	58.9%	60.2%	55.6%	57.8%	55.2%	47.8%	44.0%	39.5%	33.4%	29.7%
保育利用率	36.9%	35.7%	35.8%	39.0%	42.2%	47.2%	49.2%	53.9%	61.7%	69.9%

※令和7年度教育・保育利用児童数は申込状況による見込数、就学前児童数は令和6年度「新子育て安心プラン実施計画」における見込数

令和6年度から保育需要も減少に転じてきており、出生数の減少の影響から保育所を利用する児童も減少していくと予測される。

私立保育所についても今後、認定こども園としていくことも想定され、教育・保育需要の動向とともに考えていく必要がある。

認定こども園について

認定こども園とは・・・幼稚園と保育所の機能、特長をあわせ持つ施設。

幼保連携型、幼稚園型、保育所型、地方裁量型の4つの類型がある。

1号認定児童は幼稚園部（教育）

2・3号認定は保育園部（保育）の入所が可能

認定こども園化に関するこれまでの検討等

令和4年度第2回、第3回「森町子ども・子育て会議」において、「公立幼稚園の幼稚園型こども園化」について議題として検討を行った。

○令和4年度「森町子ども子育て会議」における検討

[今後の提供体制のあり方]

3歳児から5歳児まで対象の公立幼稚園の幼稚園型認定こども園化

- ・3歳児から5歳児までの教育提供体制の見直し

幼稚園において保育提供が必要な子どもと合わせた集団形成により適正規模を確保

- ・保護者の多様なニーズへの対応

保護者の就労形態などそれぞれの生活スタイルによる多様なニーズに対応し、3歳児から5歳児までの質の高い幼児教育と保育を同時に提供

背 景：就学前児童数の減少、保育ニーズの高まりによる待機児童の発生

公立幼稚園の利用者数の減少

課 題：保育提供量の拡充と定員弾力化の見直し

公立幼稚園の運営改善、施設管理

保護者の就労形態の変化による施設の利用変更

要保護・支援児童への対応

効 果：待機児童解消、定員の適正化、保育環境の改善

質の高い幼児教育の提供体制維持

幼稚園預かり保育の提供体制の改善

就学までの子育て環境の安定化、保護者負担軽減

要保護・支援児童の選択肢増加、私立保育所の負担軽減

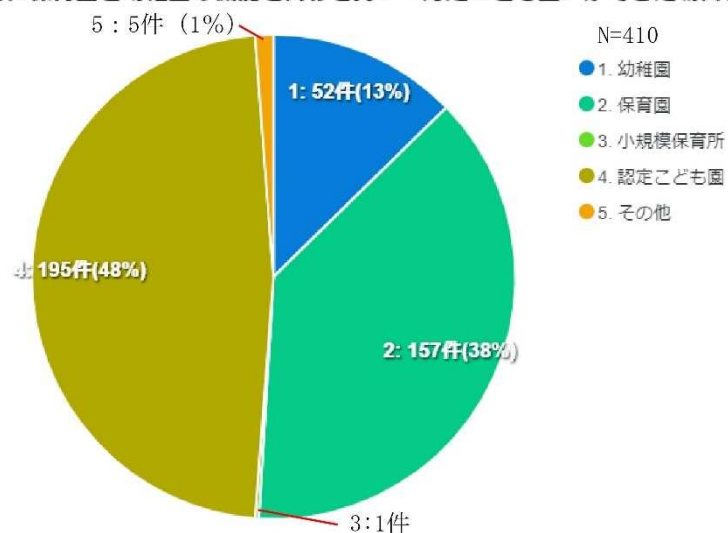
⇒森町子ども・子育て会議として「公立幼稚園の幼稚園型こども園化」については、以下の課題について十分に検討することに留意し、おおむね賛成とするとの結果となった。

- ・私立保育園の定員に空きが出ないよう配慮すること。
- ・PTA活動の保護者負担が大きくなるよう検討を行うこと。
- ・試行的に、保育園との職員交流を実施すること。

（その後の検討状況）令和５年度に認可保育所が新規開所するため、今後の需要動向、申込状況等を見ながら公立幼稚園の認定こども園化の対応を検討していく。

保護者アンケート結果

森町に保育園と幼稚園の機能を合わせ持つ「認定こども園」ができた場合、どの施設を利用したいですか？



（令和４年度「未就学児の保護者を対象とした子育て支援施策に関するアンケート」の結果より）